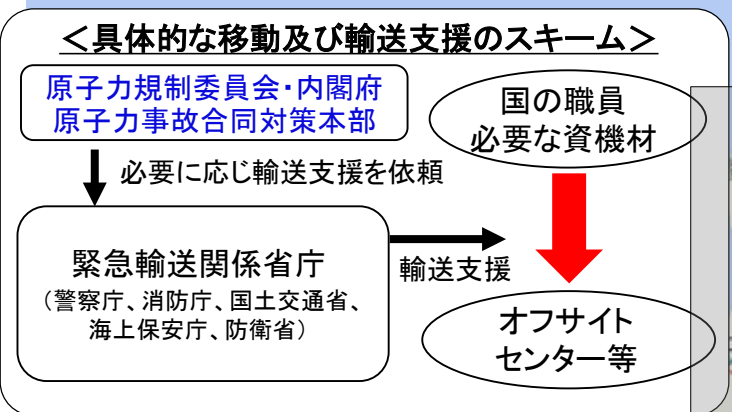


国の職員・資機材等の緊急搬送

- 施設敷地緊急事態発生 of 通報後、あらかじめ定められた100名程度の国の職員をオフサイトセンター及び各府県庁に派遣。併せて必要な資機材の緊急搬送を実施。
- その後、状況に応じて追加要員及び資機材の緊急搬送を実施。



オフサイトセンターへの派遣(自衛隊、警察による輸送支援の一例)
環境省・内閣府～入間基地～小松基地～おい町多目的グラウンド～大飯オフサイトセンター

オフサイトセンターの放射線防護対策・電源対策


➤ 大飯オフサイトセンターは、耐震構造、鉄骨鉄筋コンクリート造2階建ての構造になっている。

【放射線防護対策】


・全てのオフサイトセンターにおいて、放射性物質除去フィルター・換気設備・除染設備を整備済み。

【電源対策】

・全てのオフサイトセンターにおいて、無停電電源装置、自家用発電機を設置。燃料タンクの増設により7日分の電源を確保。自家用発電機の燃料不足時には、電源車用電源受け口より関西電力が用意する発電車で継続して電源を確保。
・加えて、福井県は、福井県石油業協同組合と協定を締結しており、オフサイトセンターなど災害対策上重要な公的施設等に優先給油される仕組みを構築し、給油確保方策も確立。



福井県大飯オフサイトセンター
(おおい町)
〔無停電電源装置、自家用発電機
燃料タンクの増設(7日分)〕
(発電所からの距離約 7km)



高浜オフサイトセンター
(発電所から約10km)

大飯発電所

仮にオフサイトセンターが機能不全に陥った場合でも、代替オフサイトセンターに移動し、対応可能。

大飯発電所の代替オフサイトセンター

- 福井県生活学習館
(発電所から約76km) *1*2
- 福井県敦賀オフサイトセンター*3
(発電所から約35km) *1
- 福井県美浜オフサイトセンター*3
(発電所から約31km) *1

*1 距離は、いずれも「直線距離」
*2 非常用発電機を整備(3日間稼働)
*3 いずれも、大飯オフサイトセンター同等の放射線防護対策及び電源対策の整備を完了

出典: 国土地理院ホームページ (<http://maps.gsi.go.jp/#9/35.808904/136.148071>)
「白地図」国土地理院 (<http://maps.gsi.go.jp/#9/35.808904/136.148071>) をもとに内閣府(原子力防災)作成

- 一般回線が通信不全の時には、原子力災害対策用に整備されているTV会議回線を含む専用通信回線を使用し、更に専用通信回線が不全の場合は、衛星回線を使って、連絡体制を確保。
- その他、中央防災無線、衛星携帯電話等を使用し、連絡体制を確保。

